

広島アニメーション

だより

広島メディア芸術を発信する情報誌

ひろしま国際平和文化祭応援イベント
主催/NPO法人広島アニメーションシティ、広島市映像文化ライブラリー

広島ゆかりのアニメーション2023

広島とアニメーションとの関わりを再発見し、アニメーションを広島の新しい都市文化の一つとして浸透する機会となるよう、皆様体験をテーマにしたアニメーション、広島在住のアニメーション作家の作品など、広島ゆかりのアニメーションを特集します。



2023年8月23日(水)～25日(金)

- 8/23(水) ピカドン / はだしのゲン
- 8/24(木) アマイとサダコの祈り / はだしのゲン2
- 8/25(金) キドモドキ / かつ飛ばせ! ドリーマーズ

高校生・専門学校生・大学生などは鑑賞料が無料です!
【広島ゆかりのアニメーション2023】の作品は、高校生・専門学校生・大学生の皆さんや、その相当年齢の方は鑑賞料が無料になります。学生証、運転免許証、健康保険証などを映像文化ライブラリーの1階受付でご見せください。

広島市映像文化ライブラリー
広島市中区基町3-1 TEL082-223-3525 <http://www.cf.city.hiroshima.jp/eizou/>

広島ゆかりのアニメーション2023 チラシ画像



はだしのゲン2
©(有)ゲンプロダクション



かつ飛ばせ! ドリーマーズ



広島市映像文化ライブラリーの佇まい

特集

この夏、アニメーション・映画で平和を考えよう!

広島ゆかりのアニメーション2023上映会 ～アニメ『はだしのゲン』映画公開40周年に～

NPO広島アニメーションシティは、広島市映像文化ライブラリーと共に、「広島ゆかりのアニメーション2023上映会」を開催します。この上映会は2018年から始まり、毎年夏に開催、アニメーションに描かれる広島の人々や街の姿に広島とアニメーションの関わりを再発見してきました。

今年は、『はだしのゲン』『はだしのゲン2』のほか、新井監督応援!カープ快進撃応援!の思いもこめて『かつ飛ばせ!ドリーマーズーカープ誕生物語ー』、アニメーションならではの表現を凝縮した短編『ピカドン』『アマイとサダコの祈り』、広島在住アニメーション作家の作品『キドモドキ』を上映します。

映像文化ライブラリーでは戦争や被爆体験をテーマにした作品を特集する「平和のシネマテーク2023」も開催されます。実写版『はだしのゲン』三部作、佐々木禎子さんが主人公の『千羽づる』、長崎で被爆した永井隆博士の生涯を描く『この子を残して』、ひめゆり学徒隊の悲劇を吉永小百合らが演ずる『あゝひめゆりの塔』なども上映されます。

「平和のシネマテーク2023」と「広島ゆかりのアニメーション2023」は、高校生・専門学校生・大学生、その相当年齢の方は鑑賞料無料(学生証、運転免許証、健康保険証などを1階受付で提示)になります。この機会に是非、平和への願いがこめられた作品を鑑賞してください。

2023年は、『はだしのゲン』漫画連載開始から50周年、アニメ映画公開から40周年にあたる年です。5月にはG7広島サミットも開催され、広島を持つ意味が世界から注目されました。原爆投下から78年、「75年間は荒廃の地となり草木も生えぬだろう」と言われながら、緑したたる街を作り続けた戦後広島の営みをアニメーションや映画の中に見て、平和を考える夏にしていかなければと思います。

豊かな緑の中にたたくむ広島市映像文化ライブラリーで、アニメーションや実写映画に描かれるひたむきに生きる姿、スクリーンから溢れる悲しみ、怒り、喜びを感じ取り、平和を希求する心を育てていきましょう。

《開催概要》平和のシネマテーク2023 ～広島市映像文化ライブラリー8月特集～

- 【日程】2023年8月6日(日)・9日(水)～13日(日)・17日(木)～20日(日)・26日(土)
- 【上映時間】日によって異なる(映像文化ライブラリー公式サイト参照)
- 【会場】広島市映像文化ライブラリー(広島市中区基町3-1)
- 【料金】大人510円、シニア(65歳以上)250円、高校生・専門学校生・大学生など無料、小・中学生無料
- 【問い合わせ】TEL082-223-3525 <http://www.cf.city.hiroshima.jp/eizou/>



《開催概要》広島ゆかりのアニメーション2023上映会 ～ひろしま国際平和文化祭応援イベント～

- 【日程】2023年8月23日(水)～25日(金) 【上映時間】①10:30～ ②14:00～ ③18:00～
- 【会場】広島市映像文化ライブラリー(広島市中区基町3-1)
- 【料金】【問い合わせ】平和のシネマテーク2023と同じ



漫画『はだしのゲン』連載開始50周年記念イベントin広島 レポート

漫画『はだしのゲン』は、週刊少年ジャンプでの連載開始から今年6月4日で50年を迎え、同日広島市西区の横川シネマで記念イベントが開催されました。

会場では、アニメーション『はだしのゲン』(1983年公開)、ドキュメンタリー『はだしのゲンが見たヒロシマ』の上映や、広島の子どもたちによる歌唱(作詞中沢啓治さん「広島 愛の川」)などのイベントが開催されました。漫画『はだしのゲン』は24言語に翻訳され、世界中で読まれています。この日、会場には翻訳者の皆さん(プロジェクト・ゲン)6人も参加しました。このところの『はだしのゲン』への関心の高さを背景に、キャンセル待ちも出るほどの盛況で、会場は定員100名の満席でした。

アニメーションの上映に先だって、妻の中沢ミサヨさんは、「50年を改めて実感し読者の皆さんの盛り上げに感謝している。14年間出版元を変えながら夫はゲンとともに人生を歩んできた。原爆を体験した自分と同じ思いを二度とさせてはいけない。どのように描けばその思いが伝わるのかと考えながら一コマ一コマ丁寧に描いていた。今後ともゲンを宜しくお願いします」と挨拶されました。

アニメ『はだしのゲン』を見た参加者からは「原爆許すまじとの中沢啓治さんの強い思いが改めて伝わってきた」、「こういうアニメーションを多くの人に見てもらって原爆の悲惨さを伝えていく必要がある」などの感想がありました。(文・HAC 原森勝成)



【ゲンが大好き】宮崎 一成(声優/広島市出身)



「一成、はだしのゲンオーディションに応募しんさい」

親戚のお姉ちゃんの電話から、僕の物語ははじまった。明るく元気が取り柄の一成少年に、ピッタリだと思ったみたい。漫画をあまり読まなかった僕には、『はだしのゲン』が初めての漫画。新鮮！本を開くたびゲンちゃんが飛び出してくるようだ。ゲンが大好き！僕がゲンだって思った。幸せだった。

初めてのアフレコ現場。大人の人達は上手で、格好良く、とても優しくった。僕もプロになりたいな、神聖な空気に憧れた。収録本番！本番は新鮮で深刻。何度も録りなおした被爆シーン、心も声もパンクしそうになった。いや、若干パンクしてた。

へろへろになった一成少年の元気が完全に回復したのはたぶん初上映のとき。あのシーン、あのセリフ、あの感情は今でもずっと覚えている。

ゲンのお役目はまだまだこれから！
平和を伝えて！明るく世界に！その先の世代へ！

宮崎 一成(みやざき いっせい)：『はだしのゲン』ゲン役、『かつ飛ばせ！ドリーマーズ』ジョー役、『かみちゅ!』『あずきちゃん』『カードキャプターさくら』など出演多数。

第2回ひろしま国際平和文化祭 開催1年前プレイベント

■ドラゴンクエストコンサート～広島交響楽団創立60周年夏休みスペシャル～ ～すぎやまこういち 交響組曲「ドラゴンクエストVIII」空と海と大地と呪われし姫君～



2023年8月12日(土) 開場14:00/開演15:00

広島文化学園HBGホール

チケット料金 S席:5,000円 A席:4,000円

(JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、広響事務局、ローソンチケット、チケットぴあ)
※小・中・高校生はS・Aとも半額(広響事務局のみで取り扱い)

指揮 喜古 恵理香(第1回ひろしま国際平和文化祭 次世代指揮者コンクール第3位)
管弦楽 広島交響楽団

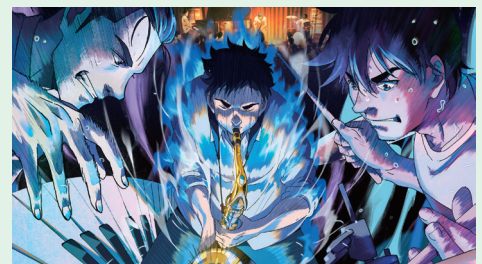
すぎやまこういち先生によるゲーム音楽の名曲！
交響組曲「ドラゴンクエストVIII」を広島交響楽団の演奏でお楽しみください！

【問い合わせ】広響事務局 TEL082-532-3080 <http://hirokyo.or.jp>

■アニメ映画『BLUE GIANT』特別上映

2023年9月11日(月) 開場17:30/開演18:00/終演20:45
JMSアステールプラザ 中ホール 入場無料 要事前申込み

2024年8月に開催する第2回ひろしまフェスティバル芸術部門「ひろしまアニメーションシーズン2024」の1年前プレイベントとして、石塚真一氏による同人気ジャズ漫画原作のアニメ映画『BLUE GIANT』の特別上映会を行います。上映後には本作監督の立川護氏とサックス演奏の馬場智章氏によるトーク&ミニライブを開催！本格的なジャズ演奏と迫力あるライブシーン映像が話題となった本作。上映と合わせて、貴重なトークと生の音の迫力をお楽しみください。事前申込方法については、8月中旬頃にひろしま国際平和文化祭公式HPで公開予定です。



©2023 映画「BLUE GIANT」製作委員会
©2013 石塚真一/小学館

【問い合わせ】info@animation.hiroshimafest.org

コスプレやアニソンで国際交流！「ポップカルチャーひろしま2023」

アニメやコスプレなど、いまや世界中で大人気となっている日本のポップカルチャーコンテンツ。そのようなファンのための国際交流の場を提供し「平和は楽しい」というメッセージを広島から世界へ発信するイベント「ポップカルチャーひろしま」が同実行委員会により2017年から毎年開催されています。

今年は10月14日(土)と15日(日)に広島市中区のNTTクレドホールにて開催予定。日本を代表するコスプレイヤー・麗華さんと共に、7月現在予定されている11の国と地域から集まった約24名の各エリア代表コスプレイヤーのパフォーマンスステージや国際交流撮影会、書道や折り鶴などの文化体験を楽しめます。

また、スペシャルゲストとして呉市出身声優・アーティストのMachicoさんをむかえトークショーを開催。その他にも、あおぞら管合奏団や音まちカルテットによるアニメ音楽コンサート、竹下ひかりアニソンライブ、海外&地元コスプレイヤーによる本通りコスプレパレード、アクターズスクール広島ステージ、ヒューマンアカデミー広島校殺陣パフォーマンス、同人誌即売会「安芸コミ」など、さまざまなステージや交流イベントを予定しています。

【日程】2023年10月14日(土)～15日(日) 【料金】入場無料

【会場】NTTクレドホール(広島市中区基町6-78 基町クレド・パセーラ11F)

【問い合わせ】TEL082-253-1010 テレビ新広島 事業部内 ポップカルチャーひろしま実行委員会



▲ゲスト声優 Machicoさん



▲ゲストコスプレイヤー 麗華さん



▲本通り商店街 コスプレパレード



▲アニメ音楽コンサート
(写真は音まちカルテット2022)



▲海外からのゲストコスプレイヤーと地元コスプレイヤーの交流(2022年、おりづるタワーにて)

今年も開催！ 秋～冬 アニメーションや映画を楽しむメディア芸術イベント

フクヤマニメ6

10月21日(土)～22日(日)
福山駅前各会場

広島県出身豪華審査員による
「もえる！アニメコンペティション フクヤマニメAWARD2023」作品募集！
・1分～20分のアニメーション作品
・応募期間 6月3日(土)～9月18日(月・祝)
<https://fukuyamanime.jp/>



広島国際映画祭2023

11月23日(木)～26日(日)
NTTクレドホール他

★15周年アニバーサリー！4日間拡大開催★
前身「ダマー映画祭inヒロシマ」から15年。
片瀬須直監督ティーチンも『この世界の片隅に』から新作『つるばみ色のなご子たち』へ継続開催中！
<http://hiff.jp/>



広島こわい映画祭2023

12月15日(金)～17日(日)
横川シネマ、コジマホールディングス
西区民文化センター

広い意味での「こわい」要素を含んだ映像作品募集！
・45分以内の作品(実写、CG、アニメーション等 表現方法は問わない)
・応募締切 8月15日(火)
<https://kowaieigasai.studio.site/>



比治山大学 × サニクリーン産学連携事業
こどもたちの「未来のさきものよい暮らし」をアニメーションで応援！

アニメや体験で学ぶ！ びかびか教室



お問い合わせ サニクリーンアカデミー事務局(担当:片岡)
E-mail: info@sk-acad.or.jp Tel: 0120-01-3290

きれいを体験するアニメづくり！ びかびかアート教室



開催費用 無料
ご希望の保育園・幼稚園など募集中！



1教室の様子はこちら

きれいにしたい。あしたのために。

サニクリーンは「レンタル」「リサイクル」などのシステムをとおして、資源の有効活用を目指し、人としぜんにやさしいサービスと商品をお届けしています。



フリーダイヤル ハロー サニクリーン
0120-86-3290

◆Event Information

載せきれなかったイベント情報はカレンダー形式でHACサイトに掲載中！ → <http://hac.or.jp>

※新型コロナウイルス感染症対策のマスク着用・アルコール消毒等については各施設・主催者の要請をご確認いただき、展示・イベントを楽しみましょう。前売料金、団体料金、夏休み期間中の無料・割引について詳細は、各施設サイトを参照ください。年齢等を確認できる証明書提示を求められる場合があります。障がい者手帳等をお持ちの方は無料になる施設もあります。

<広島市まんが図書館の催し>

●貴重書展示「藤子・F・不二雄生誕90周年記念展示」

会場：広島市まんが図書館1階 エントランスロビー
会期：2023年7月6日(木)～9月28日(木)
料金：無料

●資料展示「広島ゆかりのまんが家が描く戦争」

会場：広島市まんが図書館2階 閲覧室
会期：2023年7月29日(土)～8月31日(木)
料金：無料

●資料展示「お化け・幽霊・妖怪まんが」

会場：広島市まんが図書館1階 ショーウィンドウ
会期：2023年7月29日(土)～9月28日(木)
料金：無料

広島市まんが図書館(広島市南区比治山公園1-4)
開館時間：10:00～17:00
休館日：月曜、7月18日(火)、7月28日(金)、8月15日(火)、9月19日(火)
※7月17日(月・祝)、9月18日(月・祝)、9月23日(土・祝)、9月24日(日)は開館
問合せ：082-261-0330
<https://www.library.city.hiroshima.jp/news/manga/schedule.html>

●海洋堂フィギュア展2 一手のひらサイズのワンダーランドー

会場：みよし風土記の丘ミュージアム(三次市小田幸町122)
会期：2023年7月6日(木)～8月27日(日)
料金：一般700円、高校・大学生520円、小・中学生350円
開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日：月曜、7月18日(火) ※7月17日(月・祝)、8月14日(月)は開館
問合せ：0824-66-2881
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekimin/kaiyoudou.html>

●リサとガスパールのおもいで展

会期：2023年7月6日(木)～8月29日(火)
会場：奥田元宋・小由女美術館(三次市東酒屋町10453-6)
料金：一般1,000円、高校・大学生500円、中学生以下無料
開館時間：9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)
※8月2日(水)は満月のため開館時間を21:00まで延長
休館日：水曜、8月3日(木) ※8月2日、9日、16日は開館
問合せ：0824-65-0010
<https://www.genso-sayume.jp/event/5736/>

●PUI PUI モルカー DRIVING SCHOOL×ヌマジ交通ミュージアム モルカーとわくわくクルマワールド

会場：ヌマジ交通ミュージアム 2階特別展示室ほか(広島市安佐南区長楽寺2-12-2)
会期：2023年7月14日(金)～9月3日(日)
料金：一般510円、高校生・65歳以上250円、幼児～中学生無料
開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日：月曜、7月18日(火) ※7月17日(月・祝)は開館
問合せ：082-878-6211
<https://www.vehicle.city.hiroshima.jp/event/detail?id=2606>

●明和電機ナンセンスファクトリー展 in 呉

会場：呉市立美術館(呉市幸町 入船公園内)
会期：2023年9月16日(土)～11月5日(日)
料金：一般1,100円、大学生500円、高校生以下無料、70歳以上900円
開館時間：10:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日：火曜
問合せ：0823-25-2007
<https://www.kure-bi.jp/?cn=100887>

●marriage 中村明日美子 同級生シリーズ『blanc』原画展

会場：アニメイト広島店(広島市中区大手町2-3-1 アニメイトビル)
会期：2023年11月11日(土)～26日(日)
営業時間：平日11:00～20:00、土日祝10:00～20:00
※期間中、関連グッズ等の販売、特典有り
問合せ：082-543-2639
<https://www.animate.co.jp/onlyshop/494807/>

◆この世界の片隅にNews

広島フィルム・コミッションは、G7サミットで来日した海外取材陣向けに、広島ゆかりの映画を観てもらおう無料上映会を八丁座にて開催。選ばれた作品は、アニメーション『この世界の片隅に』(2016年)とドキュメンタリー「8時15分 ヒロシマ 父から娘へ」(2021年)の2作品。いずれも英語字幕付きで上映されました。海外から広島を訪れた報道関係者は、『この世界の片隅に』から何を感じ取ってくれたでしょうか。

▷ヒロシマ平和メディアセンター記事

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=130519>

▷中国新聞記事

<https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/291029>

コスプレ・アニソン・声優・同人誌 etc... ポップカルチャーを楽しもう!



2023年10月14日(土) 15日(日)

場所：NTTクレドホール
(広島市中区基町6-78基町クレド・パセーラ11F)

海外ゲスト&国内コスプレヤーのパフォーマンス、
声優トークショー、コスプレパレード、
アニソンライブ、同人誌即売会等

<http://www.pophi.jp>



ゲスト声優 Machico



広島新銘菓
生もみじ



発行日：2023年8月1日 発行部数：5000部/発行：広島市市民局文化スポーツ部文化振興課

編集：NPO法人広島アニメーションシティ(HAC)・松浦妙子・谷口重徳・カワサキマミ/レイアウトデザイン：カワサキマミ/題字デザイン：岡川卓詩(名古屋芸術大学)

【紙面についてのお問合せ】NPO法人広島アニメーションシティ事務局 〒730-0011広島市中区基町21-3 中国放送会館内

<http://hac.or.jp/> Email : hac-jimu@hac.or.jp

メディア芸術に関する情報やご意見を募集しています